



令和5年度 第1回川崎地域 地域医療構想調整会議
資料6

報告：令和4年度第3回地域医療構想調整会議
結果概要について

本資料では、令和4年度第3回地域医療構想調整会議の結果概要について、ご報告いたします。

1 開催状況及び主な議題

2 いただいた主なご意見

※意見については事務局の責任において取りまとめ

1 開催状況及び主な議題

○ 開催状況

横浜	川崎	相模原	横須賀・三浦
2/13	2/20	2/10	2/9
湘南東部	湘南西部	県央	県西
2/6	2/14	2/20	2/9

○ 主な議題

- ・ 基準病床数の見直し検討について（横浜、川崎（北部）、横須賀・三浦）
- ・ 公立病院経営強化プランの策定について（横浜、県央、県西）
- ・ 2025プランの更新について（湘南東部、湘南西部、県央、県西）
- ・ 医療法7条3項許可を要しない診療所について（湘南西部）【非公開】
- ・ 報告事項：第2回調整会議結果概要、病床整備事前協議、外来機能報告制度、地域医療構想をめぐる国の検討会における議論 など

2 いただいた主なご意見

【基準病床数の見直し検討について（横浜、川崎（北部）、横須賀・三浦）】

- 人口が減少している中で、医療従事者を増やすのはかなり厳しい。病床が増えた場合は、どれぐらいの医師、看護師が必要かというデータも出していただきたい。
- 外部から資本が投下できて医療人材がそれに応じて自然増加するわけではない。人材には限りがあるわけで、無用な人材確保競争が生じては地域医療が大きく混乱する。
- 医師の働き方改革の影響で、地域に病床を増加させる能力がどのくらい残っているのかということは大いに検討しなければならない。
- コロナの影響とか資材の高騰の問題で、今回は見直すべきではないが、救急の不応需や店員調整の問題はこのままではいけないので、データの細分化や病床稼働率を上げる仕組みづくりを考えてほしい。
- 開業や在宅に流れるなど、中堅医師たちの病院勤務のモチベーションが非常に減っている。中堅の医師たちを病院に引き止めるために将来的には病床整備も必要になってくる。
- 入院病床だけでなく、地域の中で面としてどこでどういう医療を提供できるのかの議論をすべき

2 いただいた主なご意見

【基準病床数の見直し検討について（横浜、川崎（北部）、横須賀・三浦）】

（前頁の続き）

- 人口増加によって受け皿が全部病院になった場合は大きな不足を招くと思うが、施設とか在宅で何とか診られる患者が一定数いると思う。
- 床数を見直すとしても、今回は非常に数が少ない。もうちょっと数がまとまってからのほうがよい
- 地域で病床の募集が必要だということであれば、基準病床数の見直しというよりはまずは病床の公募をするという段階を先に入れて、そこで例えば手挙げが多数あれば、さらなる基準病床数を上げるというやり方もあるのではないか。
- 横須賀三浦地域全体で言うと、回復期間の患者さんは、この地域で60%台しか見れていない。在院日数を短縮して今まで対応してきたが、地域に回復期の病床がないと、そこはいずれスタックする。地域の急性期のニーズにもこたえられなくなるのではないか。

2 いただいた主なご意見

【公立病院経営強化プランの策定について（横浜、県央、県西）】

- 公立病院だけでなく、市内の高次機能の維持が一体どのくらいできているのか考えて計画していかないと、個々の経営もうまくいかない。
- 新興感染症の感染拡大時に備えた平時からの取組が、特に公立病院に求められるものとして大きいので、その視点を大事にしていただきたい。
- 医師の働き方改革の行方によっては、このプランも実行不可能ということもあり得る。今後の展開次第で議論をまた重ね、プランも修正していくというのは当然かと思う。県にも柔軟な対応をお願いしたい。
- 地域で二次輪番をやっている病院が、二次輪番を行えなくなる可能性がある。そういう意味で、公立病院が二次を含めた医療に注力をいただいているので、安心はしている。

2 いただいた主なご意見

【2025プランの更新について（湘南東部、湘南西部、県央、県西）】

- ・ 募集のときに、開設後10年は転換できない等の縛りをつけていなかったもので、今後はそこをつけましょうというのが1点。あとは、例えば回復期から急性期になると全然話が違ってくるが、地域包括ケア病棟・回復期リハ病棟という、慢性期と回復期のシームレスな部分に該当するので、というのも入れたほうが良い。あくまでも慢性期の前後でということが1点と、その中で病床としても3床で、それに加えて縛りが明確になっていなかったと。一応その3つから懸念を示す声もあったが、会議全体としては了とした記録に残しておいていただきたい。（湘南東部）
- ・ 更新したプランの内容は、新興感染症への対応といい、是非よろしくお願いしたい。構想区域全体の中でこの計画を実行していただきたい（県央）

⇒ いずれの地域でもプランの更新を了承

2 いただいた主なご意見

【その他】

○働き方改革関連

- ・ 休日急患診療所の扱いに苦慮している。必然的に医師の数が足りなくなる。
- ・ 減る分を増やした場合の人件費をどう手当てするかは重要な問題だが、そのあたりの各病院の財源の議論がないように感じる。
- ・ 臨床医の質を懸念。労働時間の短縮で研修量が十分確保できるのだろうか。
- ・ 一つの病院での取組みには限界。医療圏全体で考えてもよいのではないか。

○国検討会関連

- ・ 2040年に向けた地域医療構想の策定の議論が出ているが、現行の地域医療構想の策定にあたり、必要病床数の推計で地域の実状と合致していないと紛糾したので、国に地域の実状にあった地域医療構想ができるように要望してもらいたい。

説明は以上です。